

# 連結決算補足説明資料

2020年3月期 第3四半期

(2019年4月1日～2019年12月31日)

2020年1月30日

(証券コード：9640)

株式会社 **セゾン情報システムズ**

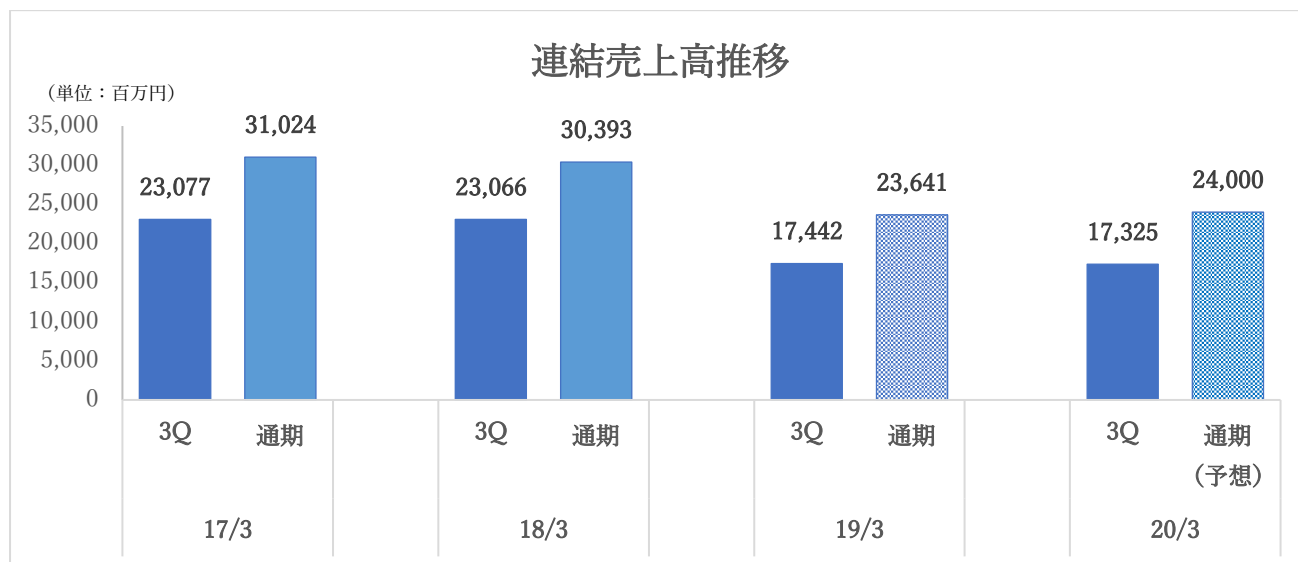
## 目次

1. 連結売上高・連結営業利益推移
2. 事業セグメント別の損益状況
  - ① Fintech プラットフォーム事業
  - ② 流通 IT サービス事業
  - ③ HULFT 事業
3. 新技術・新領域進捗状況
4. トピックス

(注) この資料に記載されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

# 1. 連結売上高・連結営業利益推移

## ■連結売上高



### <当第3四半期連結累計期間>

新たな事業領域の拡大に向けた取り組みを継続しており、当第3四半期連結累計期間においては、通期計画値（24,000百万円）に対して進捗率72.2%となり順調に推移しました。

### <2019年3月期（通期）>

- 大型システム開発が完了していることから売上高は減少したものの計画達成
- 新技術・新領域へ事業展開の取り組みを強化
- 流通ITサービス事業においてデータ連携サービス（リンケージサービス）が順調に増加（前期比45百万円増）
- HULFT事業ライセンス販売が大幅に増加、月額サービス利用やサポート売上も好調で過去最高売上高を達成（前期比321百万円増）
- 子会社株式会社アプレッソを2019年4月1日付で吸収合併（⇒適時開示、2019年1月30日）

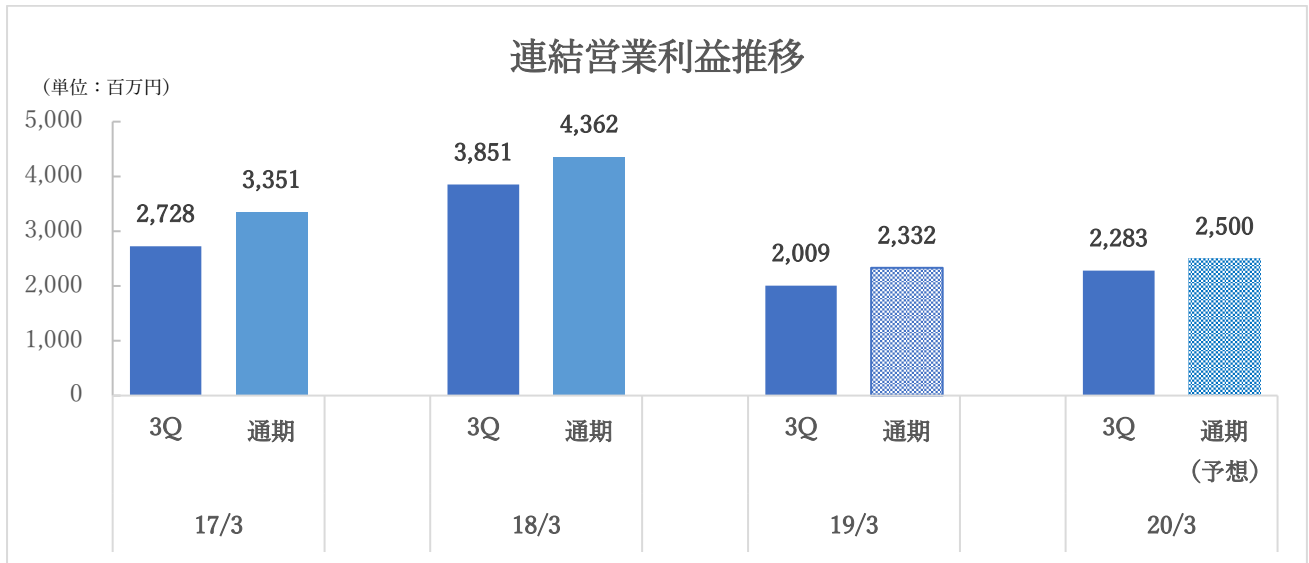
### <2018年3月期（通期）>

- 大型システム開発完了・稼働しカードシステム事業（現Fintechプラットフォーム事業）売上高に大きく貢献（前期比774百万円増）
- HULFT事業ライセンス/サービス、サポート売上好調（前期比258百万円増）
- 子会社である株式会社フェスを2018年1月に事業譲渡（⇒適時開示、2017年11月29日）

### <2017年3月期（通期）>

- カードシステム事業（現Fintechプラットフォーム事業）売上回復（前期比1,937百万円増）
- その他事業（株式会社フェス等）売上が順調に進捗（前期比1,142百万円増）

## ■連結営業利益



### <当第3四半期連結累計期間>

売上高と同様、順調に推移しており、特に、HULFT 事業での利益率向上を背景として、通期計画値 (2,500 百万円) に対して進捗率 91.3%となっております。

### <2019年3月期(通期)>

- 売上高同様、前連結会計年度に大型システム開発案件が完了したことによる利益減少したものの計画値は達成
- HULFT 事業ライセンス販売が大幅に増加、月額サービス利用やサポート売上も好調であったことに伴い利益増加 (前期比 426 百万円増)

### <2018年3月期(通期)>

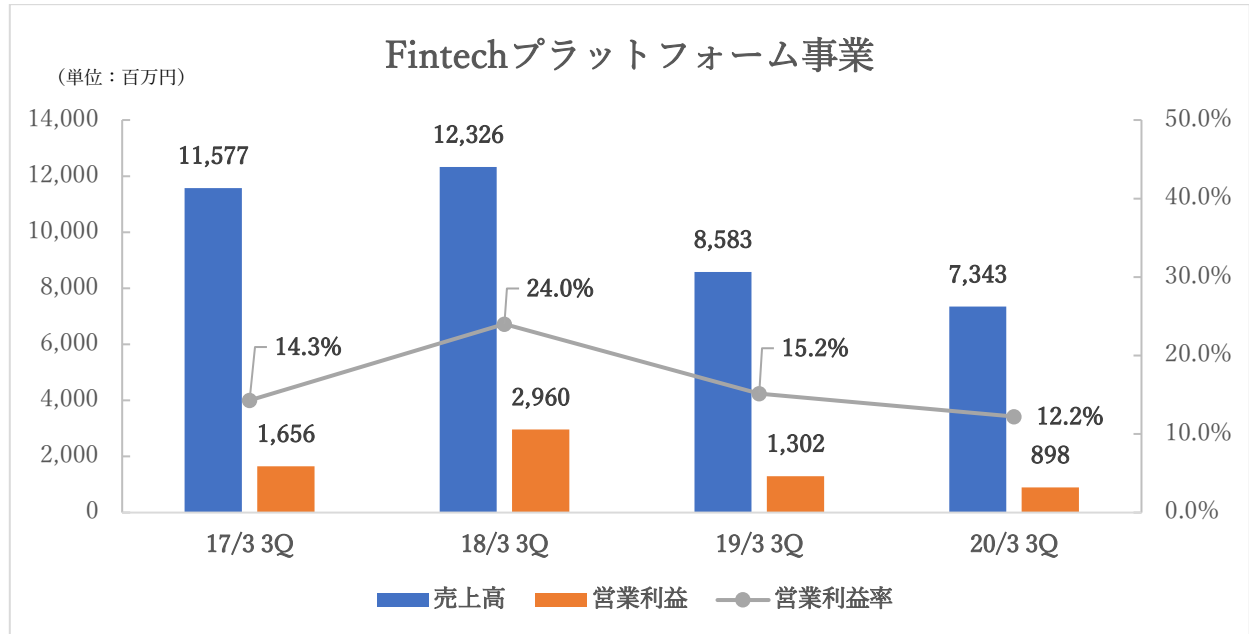
- カードシステム事業 (現 Fintech プラットフォーム事業) 売上増加及び新旧システム並行稼働による一時的な収益性向上による利益増加 (前期比 1,170 百万円増)
- 流通・IT ソリューション事業 (現 流通 IT サービス事業) において前期計上の解約損失引当金の影響により利益増加 (前期比 859 百万円増)

### <2017年3月期(通期)>

- カードシステム事業 (現 Fintech プラットフォーム事業) 売上増加に伴う利益増加 (前期比 1,199 百万円増)
- 前期に赤字であった BPO 事業を譲渡したことによる利益体質改善 (前期比 1,253 百万円増)

## 2. 事業セグメント別の損益状況

### ① Fintech プラットフォーム事業



当第3四半期連結累計期間については、決算短信に記載のとおりです。

#### <2019年3月期第3四半期 (Fintechプラットフォーム事業)>

- 大型システム開発が完了したこと等により売上減少（前年同期比 3,743 百万円減）
- 大型システム開発に伴う売上減少及び一時的な高利益率状態の解消により営業利益減少（前年同期比 1,658 百万円減）

(注) 2018年4月1日付で「カードシステム事業」を「Fintechプラットフォーム事業」に名称変更しています。

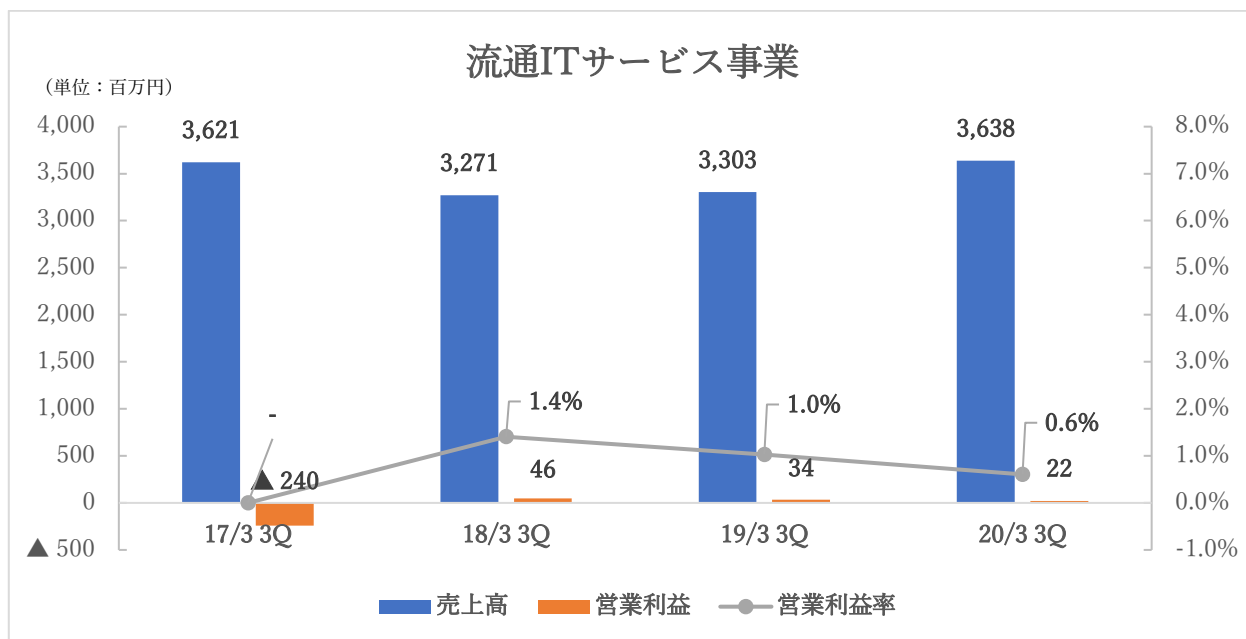
#### <2018年3月期第3四半期 (カードシステム事業)>

- 顧客向けシステム開発及び情報処理サービスが増加したことによる売上高増加（前年同期比 749 百万円増）
- 大型システム開発に伴う売上増加及び一時的な高利益率状態による営業利益増加（前年同期比 1,304 百万円増）

#### <2017年3月期第3四半期 (カードシステム事業)>

- 製品保証対応等により一時的に減少したシステム開発及び情報処理サービスが回復したことによる売上高増加（前年同期比 1,605 百万円増）
- 売上高の回復に伴う利益改善（前年同期比 607 百万円増）

## ② 流通 IT サービス事業



当第3四半期連結累計期間については、決算短信に記載のとおりです。

### <2019年3月期第3四半期（流通ITサービス事業）>

- システム開発においては当社の強みが活きる分野に選択と集中を図り、データ連携サービスの積極的な事業展開をおこない案件が順調に増加したことにより売上高やや増加（前年同期比32百万円増）

(注) 2018年4月1日付で「流通・ITソリューション事業」を「流通ITサービス事業」に名称変更しています。

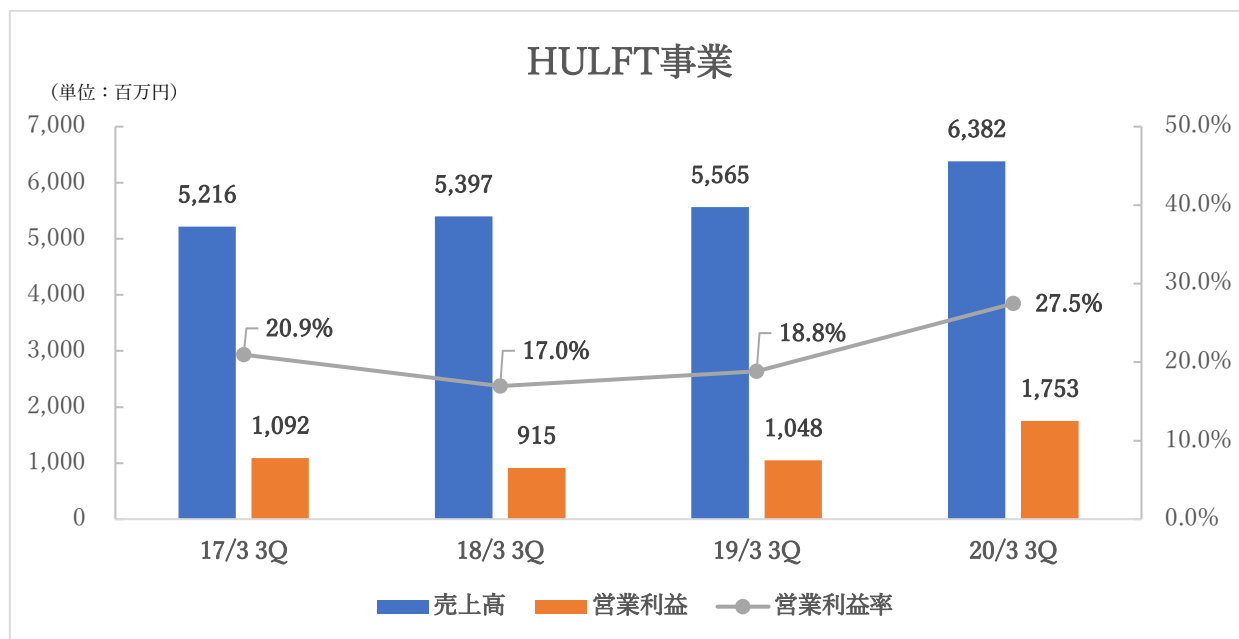
### <2018年3月期第3四半期（流通・ITソリューション事業）>

- 既存顧客向けシステム開発が減少したことにより売上高減少（前年同期比350百万円減）
- 生産性向上による収益性向上や前期に計上したプロジェクト開発中止に係る損失が収斂したことにより営業利益が改善（前年同期比286百万円増）

### <2017年3月期第3四半期（流通・ITソリューション事業）>

- システム開発案件及び情報処理サービスが減少し売上高が減少（前年同期比456百万円減）
- 解約損失引当金繰入額の計上により営業損失を計上

### ③ HULFT 事業



当第3四半期連結累計期間については、決算短信に記載のとおりです。

#### <2019年3月期第3四半期>

- 「HULFT」「DataSpider」等の月額利用サービス販売が拡大し、ストック型ビジネスの売上高に占める割合が増加したことによる売上高やや増加（前年同期比168百万円増）
- 売上が順調に推移したこと及び利益率の向上により利益増加（前年同期比133百万円増）

#### <2018年3月期第3四半期>

- 「HULFT」「DataSpider」等の保守サービス販売が増加したことによる売上高増加（前年同期比181百万円増）
- テクニカルサポート体制強化、グローバル拡販体制の強化、マーケティング活動推進等により販売費及び一般管理費が増加したことによる営業利益減少（前年同期比177百万円減）

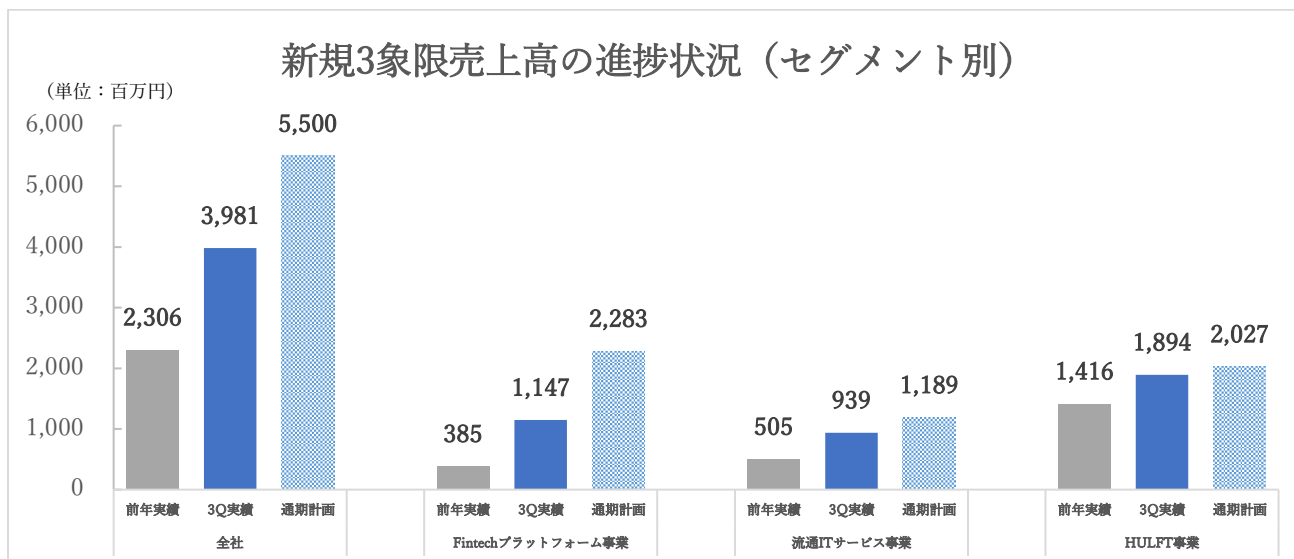
#### <2017年3月期第3四半期>

- 「HULFT」「DataSpider」及びHULFTファミリー製品等のサポートサービスは順調に推移したものの、前期にライセンス販売の大型案件があったこと等により売上高が減少（前年同期比237百万円減）
- 戦略的な投資拡大のため費用が増加し営業利益が減少（前年同期比1,128百万円減）
- グローバル展開の一環として、北米地域への拡販を主な目的とし、アメリカ合衆国現地法人HULFT, Inc.を設立（2016年4月）

### 3. 新規3領域進捗状況

#### ■事業方針

当社グループは、事業領域の拡大と先端技術を駆使した提案型ビジネスへ事業モデル刷新を実現するため、新技術・新領域への事業領域拡大を経営目標として掲げております。新技術・新領域への事業領域拡大は、事業を4つの象限に区分して象限別に進捗管理を実施しています。この4つの象限のうち既存のみの領域を除く新規3象限売上高は、経営指標として設定しております。



#### ■全社

当連結会計年度の計画において、4つの象限のうち既存のみの領域を除く新規3象限売上高計画値は5,500百万円としています。当第3四半期連結累計期間での実績は3,981百万円で、進捗率は72.4%となっております。各セグメントの実績は以下のとおりです。

#### ■Fintechプラットフォーム事業

Fintechプラットフォーム事業は、通期計画値2,283百万円に対して、当連結累計期間での実績は1,147百万円となり、進捗率は50.2%です。

#### ■流通ITサービス事業

流通ITサービス事業は、通期計画値1,189百万円に対して、当連結累計期間での実績は939百万円であり、進捗率は79.0%です。

#### ■HULFT事業

HULFT事業は、通期計画値2,027百万円に対して、当連結累計期間での実績は1,894百万円であり、進捗率は93.4%です。



## 4. トピックス

### ■ニュースリリース一覧（期間：2019年10月1日～12月31日）

- 赤坂インターシティ AIR の宅配ロッカーサービスで「Delivery Locker on Blockchain」を正式採用  
⇒赤坂インターシティ AIR で、入居テナント企業向けの宅配ロッカーサービスとして、ブロックチェーン技術を活用した「Delivery Locker on Blockchain」が正式採用。
- セゾン情報システムズ HULFT テクニカルサポートが「2019 CRM ベストプラクティス賞」を5年連続受賞  
⇒情報公開による迅速な課題解決を促す仕組みを実現し、お客様満足とロイヤルティの向上を達成した活動が高く評価。
- ファイル連携ミドルウェア「HULFT」簡単な設定だけで、主要クラウドへのエンタープライズクラスのデータ連携を実現する新機能を提供  
⇒「HULFT」のオプション機能として、簡単な設定を行うだけで主要クラウド\*1へのデータ連携を実現する「クラウドストレージオプション」を提供開始。  
\*1Amazon Web Services™(AWS™)、Microsoft® Azure™、Google Cloud Platform™(GCP™)
- HDI アカデミー2019/KCS アカデミー2019 受賞  
⇒HDI（IT サポートサービスにおける世界最大のメンバーシップ団体）、及び HDI-Japan が開催する年次カンファレンスにおいて国際認定資格のアワードを受賞（2名、HULFT 事業部）。
- 「帝国データバンク/滋賀大学 Data Engineering and Machine Learning センター」にセゾン情報システムズ参画  
⇒長年のデータエンジニアリングで培ったノウハウを生かし、社員の出講や学生インターン受け入れ等を通じて、データサイエンティスト育成及び当該センター活動の効率化を支援。
- セゾン情報システムズ、障がい者向けコミュニケーション支援アプリ「Homer（ホームەر）」を提供開始  
⇒2019年入社の新入研修において企画され、最優秀に選出されたコミュニケーション支援アプリを App Store 及び Google Play にて提供開始。
- Microsoft MVP アワード 2019 受賞  
⇒情熱と技術的専門知識を兼ね備え、その知識とノウハウを他のユーザーと共有することに貢献しているとして、Microsoft 社から認定（1名、テクノベーションセンター所属）。

---

<お問い合わせ先>

株式会社セゾン情報システムズ

ビジネスサポート部 IR 担当

Tel : 03-6370-2930

URL : <https://home.saison.co.jp/>